

進化する古典 能×長唄×映像

えぐち

しぐれ

新作

江戸の土雨

解説「能と長唄の楽しみ方」

あらよしなや

2022 12.28 水

場所 名古屋能楽堂

開場 17:30 開演 18:00

出演者 【能楽】 シテ 久田三津子 / ワキ 飯富雅介 / 地謡 久田勘鷗 他
【長唄】 長唄 小塚希帆社中 / 長唄三味線 杵屋五章社中 / 囃子 梅屋喜三郎社中

チケツト

一般自由席 5,000 円

●カンフェティ 専用 QR▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶
0120-240-540 （平日 10：00～18：00）

●名古屋能楽堂 052-231-0088

●チケットぴあ Pコード：515613 興行コード：2235839
ぴあ内販売用 URL <http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2235839>



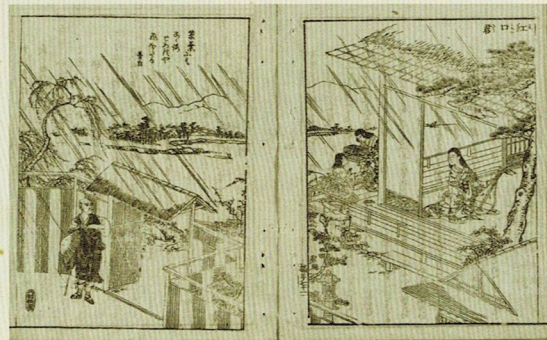
お問い合わせ ▶▶▶ 賀帆会事務局 kahokai2022@gmail.com

解説 新作「江口の時雨」について

歌修行のために諸国を巡った西行法師。

突然の雨に降られた西行は、一夜の宿を借りようと立ち寄った江口の里で、遊女と歌のやり取りをしたといいます。この逸話は、西行の歌集「山家集」に残され、のちに、能「江口」、長唄「時雨西行」として、800年以上の長い歳月を生き抜いてきました。

悲哀溢れる遊女を主人公にした能「江口」と、世を愁いながら歌修行をする西行を主人公にした長唄「時雨西行」。時代もジャンルも異なる二つの作品をもとに、新たに創り上げた「江口の時雨」ではどのような物語が展開されるのか、ご期待ください。

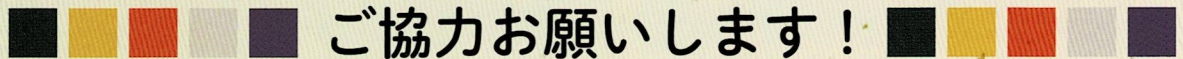


『摂津名所図会』（国立国会図書館デジタルコレクション）

本公演では、普段共演することのない「室町時代に大成した能」と「江戸時代に確立された長唄」に現代の映像演出を添え新しい「幽玄」の世界をお届けいたします。

企画 小塚希帆 / 監修 久田勘鷗 / 映像 安西奈々 / 主催 賀帆会 / 後援 三交会

協賛金募集 能×長唄×映像 進化する古典「江口の時雨」ご協賛のお願い



能×長唄×映像 進化する古典「江口の時雨」の協賛金を募集いたします。
いただいた協賛金は、2022年12月28日実施の本公演の準備開催費用として、
賀帆会により適正に運営いたします。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

募集金額 個人 1口10,000円単位
法人 1口50,000円単位
募集期限 2022(令和4)年12月9日(金)まで

協賛方法 ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④協賛金額 を賀帆会事務所
(kahokai2022@gmail.com) までメールにてお知らせください。

折り返し、振り込み先のご案内をお送りいたします。

なお、ご協力いただきました方々のご芳名は、当日配布する公演パンフレットに掲載させていただきます。